

今日のビットコイン相場、9週続落から回転か

原文:

 $\underline{https://www.btcc.com/ja-JP/academy/research-analysis/todays-bitcoin-market-spinning-off-from-a-9-week-decline}$

今日の暗号資産相場

30日の暗号資産(仮想通貨)市場は、金融市場の投資家心理の改善により反発した。



週足クローズで9週連続下落となった<u>ビットコイン(BTC)</u>は、前日比4.4%高の30,185ドルと再び3万ドル台に回復した。一時先行指標化した<u>イーサリアム(ETH)</u>はサポートラインの1700ドル台で反転すると、アセンディングトライアングルを形成して上放れた。

ただ、現時点ではトレンド転換を判断するには早計だ。反転の兆しが見え始めた段階に過ぎず、信頼性 は不十分との見方もある。 CoinMarketCapによると、28日にリバイバルプラン(復興計画)の一環で緊急エアドロップされた「 $\underline{\underline{\mathcal{F}}}$ (LUNA) 2.0 」は上場直後に17.8ドル(2,260円)を付け、乱高下した後急落。 30日11時時点で67% 安の730円台を推移する。

Terraform Labs社が開発した無担保型ステーブルコイン「<u>TerraUSD (UST)</u>」のデペッグ騒動により、 関連トークン「Luna」の前週比-99%の暴落のほか、担保資産にしていたビットコインも急落を招いた。

米国や日本株式市場の値動き

先週のニューヨーク株式市場が世界恐慌以来90年ぶりの8週連続の下落で売られすぎの水準になったことから、買い戻しの動きが出ている。

ダウ平均は前日比575.77ドル高(+1.7%)、ナスダックは前日比390.48ドル高(+3.3%)となった。

これを受けて、週明けの東京株式市場も軒並み上昇した。 日経平均株価は前営業日比527.67円高 (+1.97%) と上昇した。

2021年にかけて発生した「金融緩和」バブルで株式市場や暗号資産(市場は暴騰したが、米連邦準備制度理事会(FRB)は2022年から高止まりしているインフレ抑制のため、「金融引き締め」が加速。 リスク資産市場に流れ込んでいた大量の資金が逆流した。

【他の記事】

ビットコイン8週続落、センチメントが大幅悪化 | 今後の見通し

ビットコインの強気トレンド到来か? | BTCC週間レポート

米FRBレポート発表、暗号資産利用者間の経済状況の差も言及

暗号資産相場は小幅高、FOMC議事録は予想通り|相場分析

暗号資産相場は軟調、NFTアセットの売り圧力を喚起

米Block社によるビットコインに関する意識調査 | レポート